

英語		日本語		思考プロセス		参考		講師のコメント
down (a drone)		撃墜		類似語としては、「撃ち落とす」や「墜落」があります。でも、大辞林第三版にによる、「墜落」は「高い所から落ちること。『飛行機が―する』を指しているので主体がない場合が多い。同じ辞書をひくと、「撃墜」は「敵の飛行機を撃ち落とすこと『敵機を全機―する』『一王』」。従って、2022年ロシアのウクライナ侵攻に、誤作動によって落ちない限り、国保安全のために的航空機を撃ち落とすことが多いので、「撃墜」の方が相応しい。BBC日本の記事の書き出しにこんな用例がある。		https://edition.cnn.com/europe/live-news/russia-ukraine-war-news-04-19-23/index.html https://www.bbc.com/japanese/65084216		自分の感覚だけで言葉を選ぶと誤用のリスクがあります。辞書で調べましたか。撃墜の類語は？
The Ukrainian military says its units are standing firm in the fiercely contested city of Bakhmut and throughout the Donetsk region		〇〇の紛争地		類語の「係争地」が見つかったが、ロシアによるウクライナ侵略に関する記事では使われていないようだ。 実用日本語表現辞典によって、「係争地」は「その所有権、領有権をめぐる二者間の対立、紛争が生じている土地のこと。揉め事、争い事のタネになっている土地。二国が領有権をめぐる対立している土地の例として、竹島がある」という。例：中国インド 一方で、紛争は、大辞林第三版によると、「個人や集団の間で、対立する利益や価値をめぐる起きる行動や緊張状態をいう。もめごと。『国際間の―』『―を解決する』』という。 よって、領有権をめぐるその時に限って「係争地」が使われている。 この文脈では、権利に焦点を当てることではない。この町は戦略的に「価値」があるから、「紛争地」が用いられていたといえる。 範囲による、「紛争地域」や「紛争地帯」も可能。regional/territorial conflict の場合は地域紛争。「海外メディアの取材中に砲撃、ウクライナ東部の紛争地」という動画がある。		https://www.youtube.com/watch?v=Kq7ljjAFqls https://www.sankei.com/article/20221213-CU75RCW7YROEJL6P4EOCAZDUH4/		ではどうい文脈で『係争地』が使われますか。紛争は企業同士の争いでも使います
foreign weaponry		他国から供与された～ 武器供与 提供した兵器類		「類」とは「ある性質・関係に着目して、それを有するものをすべて集めた」として考えられる）一まとまり。クラス。 『類概念・同値類・語類』(Oxford Languages) なので、「兵器類」は、「兵器」より指していることが多い。 よって、weaponry = 兵器類、weapon = 兵器でありそうだけど、接尾辞が無いケースが多い。 CNNの記事に出た「提供した兵器類が効果的に用いられているとも結論づけた」という用例もあるが。 それに、「武器」の方が「兵器」より多く用いられている。武器は「戦いに用いる道具。敵を倒したり身を守ったりするための兵器や武具」(大辞林)。一方で、兵器は「航空機・火器・通信機材・車両など、戦闘用のすべての資材。狭義には、敵を殺傷・破壊する器材をいう」(大辞林)。 というわけで、「兵器」の方が幅広い。人間同士が戦う前提ならば、「武器」の方が相応しい。 別に最先端の新技术を給与していないので、右側の記事に「欧米諸国などからの武器供与です」というふうに書かれているわけだ。		https://www.cnn.co.jp/usa/35200766.html https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220602/k10013653981000.html		根拠もなく、自分の感覚で言葉を使うのは避けましょう。誤用のリスクが生じます。『他国から供与された～』という表現があります。
air force command		空軍司令部		ウクライナ軍にはair force commandがないらしい。一番近いのが「ウクライナ空軍」である。 「～軍」=「Armed Forces of ～」 「～空軍」=「～ Air Force」という対訳パターンがある。語順に紛らわせないように。 command の類似語にはheadquartersがある。両方を司令部と訳してもいいのか。「司令部」とは「司令官が職務を行う所」(大辞林)。 Collins Dictionaryによると、「In the armed forces, a command is a group of officers who are responsible for organizing and controlling part of an army, navy, or air force. [...]」 Headquarters とは「the main office, or center of operations and control, of anyone in command, as in an army or police force」 従って、両方を「司令部」と訳していいそうだ。 command は司令官か司令部をどちらか場合があるので、内容に注意すること。 「ウクライナ空軍司令部のイフナト報道官は17日」という用例がある。		https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A9%BA%E8%BB%8D%E5%AE%87%E5%AE%99%E8%BB%8D%E5%9B%A3 https://www.ukrinform.jp/rubric-ato/3671394-ukraina-kong-jun-bao-dao-quankurimianadode-bao-faga-jin-houmo-xukuto-fa-yan.html		空軍軍団という日本語はどこかで使われていましたか。commandは司令部とよく訳されます。根拠なしに判断しないように。wikipediaは情報源とはなるものの、不十分です。

concentrating the bulk of its forces in	〇〇に戦力集結	<p>bulk of を「ほとんど」に訳してもいいけど、「大部分」の方が本来の意味に近い。完全に省いてもいい。</p> <p>「逐次投入」という言い回しがあるから、concentrate を「投入」に訳したいが、旺文社国語辞典第十一版によると、「① 物を投げ入れること。 ② 資力や労力などをつぎ込むこと。」という定義が書いてある。</p> <p>concentrateの意図的に一箇所に集めるというニュアンスが含まれてない。</p> <p>それで https://news.yahoo.co.jp/articles/5efc63b4c6c343d5010d1c876b9caff4e4ea1e82を参照して、「強力を集結」が見つかった。集結と類似している結集という単語も見つかった。</p> <p>大辞林によると、結集とは「ばらばらになっているものがまとまって一つになること。また、集めて一つにすること。『総力を一する』」 単に一箇所に集まることではなく、「ひとつにして」集まる意味合いがconcentrateと似ている。</p> <p>だが、文脈にあった用例が見つからなかった。こういう場合に「集結」の方が使われているらしい。国立国語研究所のコーパスにより「イラク軍の機動戦力がクウェート国境に集結をはじめたのは90年7月のことだった。(笹川英夫著『世界の特殊部隊』, 2004, 391)」という用例が出た。</p> <p>ロシアによるウクライナの侵攻と関連ある例としては、https://www.nikkei.com/telling/DGXZTS00001370T10C22A4000000/ の書き出しに「ロシア軍、ウクライナ東部に戦力集結」と書いてある。</p> <p>bulk of its forces are concentrated in ~ の場合は、先生のご指摘の通り、「〇〇に▲▲を配備してある」と言っている。受け身の形が見つからなかった。</p> <p>なかなか「安全」と「支援」が両方ある文が見つからなかった。</p>	<p>https://souken.shikigaku.jp/18708/</p> <p>https://nlb.ninjal.ac.jp/headword/N.15437/</p>	参照するサイトの本質をよく検証しましょう。置かれている、は平易な表現ですが、軍事ではよく配備を使います。
security assistance	軍事支援	<p>https://www.asahi.com/articles/photo/AS20230406001161.html?iref=pc_photo_gallery_next_arrowによると、安全保障能力強化支援という用語があるけど、具体的な価額を示していない。</p> <p>NHKの記事によると、軍事支援という言い方が見つかった。安全保障を支援するというのは、その国の防衛を強化することだから、多少納得した。 「アメリカのバイデン大統領は、ウクライナに対する、合わせて8億ドル、日本円にしておよそ950億円の追加の軍事支援を決定し」</p>	<p>https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220317/k10013536971000.html</p>	根拠を示すように。日本語の報道などではどのような表現を使っているのでしょうか。国連機関のサイトはでは？
sending a support package that includes more ammunition and artillery rounds	パッケージにもっと弾薬や砲弾が含まれ→〇〇へ重火器を含んだ支援を提供	<p>artillery は「大砲」だが、artillery rounds は銃火器の弾丸を指しているとわかって、辞書を引いて「砲弾」と簡単にまとめられるとわかった。artillery shell, loadと同じように、色々な言い方があるが、意味が同じであるので「砲弾」でいいと思う。でも、rounds と言いたい時に間違ってbulletという人もいるので、要注意。</p> <p>https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_009653.htmlによると、パッケージは方針として用いられてもいいが、「支援」だけと書いてあるだけの文がよくある。</p> <p>日本語の報道では、支援する形(パッケージ)自体を持ち出すことが少なそう。逆に、「ロシアのウクライナへの軍事侵攻から1年がたち、米欧からウクライナへの軍事支援は重火器や戦車に軸足を移している」 「ロシアの侵攻が続くウクライナを援護するため、主力戦車や重火器を含む「前例のない支援一式」を提供すると約束した」という用例が記事に分かりました。</p> <p>前者に、支援対象を明白にする手が見られる。後者から、「支援を提供」という言い方を取り入れられる。</p>	<p>https://www.bbc.com/japanese/64832553</p> <p>https://www.nikkei.com/article/DGKKZQ68718170U3A220C2NN1000/</p> <p>https://www.jiji.com/jc/article?k=2023012000211&g=int</p>	パッケージは業界によってはそのままカタカナで使いますが、この文脈では不適切です。軽く聞こえます。支援策。artilleryは重火器という総称もあります。

forced deportation		国外追放	<p>「ロシア外務省は27日、ロシアに駐在する日本人外交官8人を国外追放すると発表した」、「ロシア外務省は22日、『ドイツ側がロシア外交官の大量追放を決めた』』という記事の文章から、chasing out someone from a country の場合は「追放」が主に用いられている。UN Information Centreの2023年の優先課題の発言にもある。</p> <p>類語がいくらかもある。「強制移送」は似ているけど、これはforced displacement。例：シリア・アラブ共和国における人権状況のUN Information Centreのレポート。</p> <p>大辞林によると、送還は「送り返すこと。現在は、主に密入国者・犯罪者を本国に送り返すことなどにいう。「本国に一する」という意味だ。</p> <p>従って、追放は「出国」に焦点をあてている反面、「送還」は目的地がいつも母国である。</p>	https://voi.id/ja/news/175063 https://news.yahoo.co.jp/articles/8e43783bc9d865902ec81c60c045da8220a17eb0 http://www.office-tomiyama.com/syutukoku.html https://www.tokyo-np.co.jp/article/174337 https://www.unic.or.jp/news_press/messages_speeches/sg/47764/ https://www.unic.or.jp/files/a_hrc_res_39_15.pdf	<p>そもそもdeportationの意味は？自分の考えではなく、どのような表現が使われているか幅広く調べましょう！</p>
have continued to hamper Russian forces as they moved into Ukraine		〇〇がウクライナへの侵攻を妨害する	<p>hamperにはimpede やhinder という類語があり、相当する日本語の言葉がいくつかある。でも、hamperには高い度合いを感じて、特に「害」を与える。従って、「妨げる」や「阻む」より、「妨害」の方が相応しいと言える。でも、hamperedなら、もう取り戻せない意味合いがあり、「台無しになる」と言い換える場合もあると想定する。</p> <p>朝日新聞に「中国はロシアの計画の邪魔をしない」という文章が出たので、こういう文脈に「邪魔」を用いることができるとわかった。</p> <p>foil plans, thwart という類語もある。</p>	https://www.waeijisho.net/word.html?id=72642 https://www.asahi.com/articles/ASQ2W051CQ2VUHB106B.html	<p>ウクライナとの関連は？</p>
humiliating retreats		〇〇からの撤退の屈辱	<p>日常的に使われている retreat を「後退」や「引込む」と訳すことができ、retreated to his room を部屋に引き籠もったと訳することができるが、軍隊に関するretreatは「撤退」の意味である。旺文社国語辞典第十一版による、撤退とは「引きあげること。特に、軍隊などが陣地などを取り去って退くこと。」</p> <p>いくつかの類語もある。例えば、退陣、撤兵、引き上げる。でも、調べた限りでは戦略的に退くことを指していない。</p> <p>例：「国際的に認められた国境内のウクライナの領土からすべての軍隊を完全かつ無条件に撤退させることをロシア連邦に要求しました」(UN News)</p> <p>humiliating にはバイアスがある。ヘルソン撤退について、英語のニュースは遠慮なくhumiliatingを乱発している一方で、日本の報道ではそういう傾向がなかなか見つからない。</p> <p>https://japanese.joins.com/JArticle/296945 に「ロシア、『ヘルソン撤退』の屈辱目前」という書き出しがあるが。</p>	https://www.bbc.com/news/world-europe-56720589 https://www.atlanticcouncil.org/blogs/ukrainealert/putin-faces-humiliating-defeat-as-russia-announces-kherson-retreat/ https://dictionary.goo.ne.jp/thsrs/1626/meaning/m0u/	<p>根拠を示しましょう。考え方としては妥当かと思います。撤退の類語はありますか？言葉の意味について色々考えようという努力は見られますが、参考文献が質・量ともに乏しく、自分の感覚に留まったため、まだ本当の探究にはなっていません。C</p>